



ブログ
野田省一奮闘記

発行者 野田省一・後援会

電話(昼)45-2426・(夜)45-2703

携帯 090-4873-1915

E-mail nodac@nodac.co.jp

”努力するものは夢を語り、怠業の人は不平を述べる”

今回で私自身の発行は42回目になりました。ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください

6月定例議会

補正予算追加

9億円

政策予算計上される

●6月定例議会が開催され、町長就任後の、施政方針、執行方針が示され、ともなう、政策予算の追加され、総額113億円の予算となりました。

主なもので次の通りです。

○地域自治の振興

・学校跡地の活用検討

・和泉稲里小学校 600万円

・特色ある地域づくり

・田んぼDEミュー200万円

・交流人口拡大推進

・観光協会支援拡充290万円

・ほべつキャンプ場整備

3900万円

○計画的行財政の推進

・総合計画の策定 400万円

・稲里郵便局移転(はくあ内)

681万円

○健康づくりと医療の充実

・小児用肺炎球菌ワクチン費用

117万円

・厚生病院改築・実施設計費

4900万円

・診療所医師等確保対策

810万円

○福祉の推進

・アイヌ住宅改良促進事業

1388万円

・生活館の改善

汐見・稲里・仁和495万円

○環境保全

・産業会館ペレットボイラー導入

2730万円

○四季の館の照明LED化

4000万円

・公用ハイブリット車導入

217万円

○社会生活基盤の整備

・鶴川地区コミュニティバス車両

1000万円

・穂別地区コミュニティバス

240万円

・鶴川地区地デジ共同受診整備

9187万円

・町道の整備

1億6400万円

・上下水道の整備

鶴川地区 3670万円

穂別地区 7900万円

○安心安全

・胆振東部消防組合負担金

1826万円

・治山事業

宮田の沢賞希望治山

3069万円

○子育て支援

・母子センター移設

1100万円

・ひかり児童間移設

1800万円

・子育て支援医療費還元高校生分

154万円

○教育の充実

・幼稚園就園費助成

234万円

・英語指導助手

763万円

・理科等教育教材整備

780万円

○農業の振興

・担い手センター補助

400万円

・経営体育成交付金

1425万円

・水田農業構造改革推進基金交付

3755万円

・農業基盤整備

8000万円

- 林業の振興
- ・民有林振興対策事業補助 2200万円
- ・林道整備 7893万円
- ・町有林造成事業 4225万円
- ・山林資源の活用

予算は原案通り可決されました。また、この他に役場の組織の機構が変更されました。

■議会では、これから、議会改革特別委員会、議会改革、議会基本条例について議論されます。

また、地域医療の充実に関する特別委員会も再度設置され、診療所、厚生病院の改築について議論されていく予定です。

■また、総務文教常任委員会では、町づくり計画について、学校跡地の再利用について、調査していく予定です。

■これまでの建設計画(町の将来の予定計画・根拠)は、合併前に旧町で作成された、「町づくり建設計画」を単に結合して、できたようなものでしたが、合併をし、4年が過ぎ、整合性がとれなくなる将来の財政、時代背景など加味し、新たな、建設計画が策定されます。

※特に、策定委員の皆さんには、ご苦労をいただきますが、事務局が主体となりすぎ、行政サイドமாகせとまらないように、しっかりと意見集約されたものになることを期待しています。

決意新たに

■今期、当選後、皆さんより多くのご意見、要望をいただいておりますので、確認の意味も含めてご紹介いたします。

- ・診療所の病床再開の早期実現
- ・診療所の対応に苦情要望
- ・豊田地区バス運行に関する要望
- ・道道の管理に関する要望
- ・町不要資産の売却について
- ・和泉地区信号の撤去について
- ・デイサービスについて
- ・介護支援についての要望

全て着手し、一定の結論をださせていただいたものもありますし、現在進行中のものもあります。身近な問題解決も、私の仕事として対応させていただいております。

■議員は町民の皆さんに使われてこそ本望！一票の有無には全く関係ありません。全体の奉仕者です。皆さんの声をお聞かせ願います。

野田省一





一般質問これでいいのか、町政を問う

問い 財政健全化の原因は

野田省一 施政方針で、適正な将来負担の想定と必要な投資事業の実施を図るための財政健全化に関する計画を策定するとされていきますが、適正な将来負担の想定とは、どのように考えていますか

山口町長 健全化法の数字で、公債費比率が、3カ年平均で21年度は18%を超え、健全化計画は、規律に基づいて行い、これからの4年間は、私の公約も含めて、財政を想定しながら、直近の議会で健全化計画の自身を出していくと考えています。想定はなかで、交付税は、合併15年後は、1つの町としての合併の算定外が消費段階的に5年間の間で減少され多分、1億ぐらいの単位で交付税は減少されると想定し、新しいまちづくり計画をたてていかななくてはなりません。

その基本が、まちづくり基本条例だと思っており、財政も含めて、この条例に規律が網羅されていくものと思っています。

野田 何が原因で財政健全化を図らなくてはならないのか、財政健全化に向かうために、町民の皆さんへ原因の明示をしてから臨むべきではありませんか

山口町長 合併に至った経過は、旧町ともに財政的背景より、合併を選択せざるを得なかったとも思っておりますし、合併だけで今後財政が健全化することは、大変厳しいと考えま

す。そこで、今回、自立を自分たちで据え置いて、行政、議会、町民の皆さん方にも、やるべき役割も含めて、その根本たる基本は基本条例の作成過程で理解していただきたいと考えています。

野田 合併して5年目に入り、新しいまちづくり計画を作る時期に財政健全化計画にいたる原因と理由明確にし、町民の皆さんに丁寧な説明をしていく義務はありませんか

山口町長 町民の皆さんには、機会あるごとに、財政の厳しさも説明してありますが、課題解決も私の責任であり、両にらみしながら、町民皆さん、団体等も含め、機会を得ながら、発言していきます。

質問を終えて

健全化計画は国の法律で、簡単に言えば、借金の返済額が収入に対して割合が多くなると、健全化を図りなさいという法律で、わが町も健全化しなくてはならない借金の割合に、なりつつある状況です。今回は、町長が改選された後の町長の4年間町の方角を示す、施政方針がだされ、その中で健全化を図ることが明言されています。その原因は明確にはしていません。町民にも痛みはある事でもあり、原因を明らかにして、反省し今後の糧にすべきとおもいます。皆さんの声をお願いします。

問い 病床再開の強い意思を

野田 施政方針で、穂別診療所については安定運営に努めますとありますが、町長として、診療所に対してこれまで明言されてきた病床再開の月日の目標設定など、これまでの強い意思が感じられませんが、診療所所長との意思疎通は、どのようになっていますか

山口町長 次の月曜日に運営委員会に私も出席しますが、一木所長、現場へは、運営委員会を通じながら、議論もし、対応しています。私が直接会わなければ信頼関係が無いとは思っていません。

また、4年間の施政方針に安定運営を掲げたことは、今後とも努力をしながら一日も早い入院再開に向けて早く入院再開に最大限努力していきます。

野田 病床再開できない事が判明して以降、所長と、お会いして話をしていない事からも、町長の強い病床再開の意思が見えない。

穂別地区の町民にとって、最高責任者の再開に対する強い意思表示が望まれているが、考えがあればお聞きしたい。

山口町長 強い意思は、執行方針に掲げたということで理解していただきたいし、批判を受けながらも、強い決意で私は臨んでいます。

今後は、目途がたったときに、説明会等が必要があれば、応じて考えたい。

質問を終えて

実は、この質問をする数週間前に、非公式会議で、町長に同様の質問をしたときには、診療所所長とお会いした主旨の答弁でしたので、後日確認したところ、イベントで会ったとの事でした。「がっかりしました」穂別の町民感情からすれば病床再開が予定通りできなくなった時点で、診療所サイドも十分な打ち合わせ等がされていると思われる事案であります。

この質問後に、町長も参加する協議会が開催される日程が入ったようですが、町長と町民の、病床再開にたいする事の重み、温度差を感じます。これからのこの問題は注目していきます。

野田 町長自らが協議会に参加して、内部に向けてでも、目標の月日を定め何とかしようという、考えはありますか

山口町長 私は2度、約束を破っているかもしれない。昨年2月で何とか、看護婦の確保もめどをつけたといった発言、今回の病床再開、私は、3度あっては大変なことと自分の心にしっかりと刻み込んでいます。

入院再開に最大限の努力集中することが今私に課せられた、いわば信頼の回復する唯一の手だてだと思っております。



ブログ 野田省一奮闘記



氏名	Y	S	N	O	M	K	野田	M	H	Y	K	T	K	K	H	T
一般質問 累計回数	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	-

一般質問の今期から累計回数です。